

令和6年度 事業報告

I 令和6年度事業報告

1 事業の概要

少子高齢化、DXの進展等にもない社会経済構造が変化するなか、誰もが働きやすい就業環境への改善や長時間労働の抑制など働き方改革が進んだ一方で、運送業等におけるいわゆる「2024 年問題」など、中小企業では深刻な人手不足も指摘された。また、大企業を中心として賃上げされるなか、賃上げの中小企業への波及が注目された。

こうしたなか、当協会では、中小企業等に従事する勤労者やその家族、県民等の福祉向上と中小企業の活力増進を図るため、デジタル技術等を活用した多様な働き方の促進、分散型・体験型のツーリズムやコロナ禍により広がりを見せたワーケーションなどを含めたCSR活動の活性化、勤労者のニーズを踏まえた福利厚生提供等に注力しつつ、国・県・市町の施策、労使団体等との緊密な連携のもと、「ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進」、「勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進」、「勤労者の福利厚生の充実」、「労働・勤労者福祉の情報提供」の4本柱で総合的に事業を推進した。

(1) ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進

企業や団体が組織力を強化し、働き方改革や新たなワークスタイルの導入を進め、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた活動に幅広く取り組むことにより、より多くの健康長寿企業を生み出せるよう、政労使三者合意に基づく取組の集積と成果を活かし、ひょうご仕事と生活センターにおいて、普及啓発、相談・実践支援、研修の企画・実施、中小企業への助成、調査・研究を柱として積極的な支援を展開した。

(2) 勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進

勤労者やその家族をはじめとする県民の文化・スポーツ・レクリエーション活動と地域活性化を促進するため、兵庫県等からの指定管理を受け、兵庫県中央労働センター、姫路労働会館及び但馬ドームの施設管理運営を行った。各施設ではギャラリー展やスポーツ教室等の企画事業を実施して利用の促進に努めた。

(3) 勤労者の福利厚生の充実

中小企業従業員の福祉向上と企業の安定した労働力の確保・定着を図るため、「中小企業従業員共済制度」において多彩な福利厚生サービスを提供するとともに、非正規雇用労働者を含む加入促進を図った。勤労者福祉基金を活用し、教育資金融資や勤労者福祉活動に対する助成を行った。

(4) 労働・勤労者福祉の情報提供

県内有数の労働関係図書資料を有するひょうご労働図書館の運営や、雇用労働問題をテーマとした講演会を通じて労働・勤労者福祉に関する情報提供を行った。

2 ワーク・ライフ・バランス(WLB)の促進

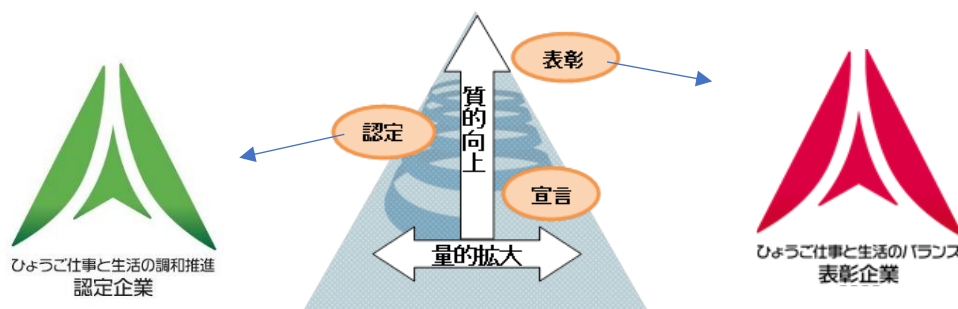
<重点業務取組>

- ① 3拠点(神戸、阪神、姫路)の機動力を生かし、宣言企業を戦略的に発掘
- ② 「質的向上」により重点をおいた取組を推進し、認定・表彰企業にステップアップ
- ③ 企業への情報発信に加え、新たな働き手となる学生をはじめ県民に向けた広報の強化
- ④ 新自己診断システムを活用し、多様で柔軟な新しいワークスタイルの実現を支援
- ⑤ 女性活躍やSDGs、働き方改革支援等に係る関係機関との連携強化

<県内企業でのWLBの取組実績>

年 度	H21~R2	R3	R4	R5	R6	累 計	R6目標
宣言企業数(内外に取組を宣言)	2,706※	401	277	311	300	3,995	300
認定企業数(取組が一定水準超)	300※	65	72	73	62	572	70
表彰企業数(先進・模範的取組)	127	12	13	15	15	182	—

※宣言企業：H25から開始、認定企業：H26から開始



※令和元年度にロゴマークを新たに作成。認定企業がフレッシュグリーン、表彰企業がワインレッド

<主な事業の実績>

(1) 推進体制

神戸、阪神、姫路の3か所の事務所を拠点に、国や県の表彰・認定企業等のリストアップを行い、機動力を生かした積極的な企業訪問により、宣言企業を戦略的に発掘するとともに、それぞれの企業の状況や課題に応じたきめ細かなサポートを行った。

(2) 普及啓発・情報発信

情報誌やホームページ等により、先進事例やセミナー情報、各種助成金等の情報を提供したほか、企業・団体、県民を対象とした普及啓発イベントとして、WLB推進月間の11月には、WLBフェスタ(企業表彰、キャッチフレーズ優秀作品表彰、講演会等)を協会60周年・センター15周年記念事業として兵庫県公館で開催した。

① 協会60周年・センター15周年記念事業WLBフェスタの開催

・開催日・会場：令和6年11月29日 / 兵庫県公館 (175人参加)

- ・内 容：表彰式(ひょうご仕事と生活バランス表彰企業※、WLBキャッチフレーズ受賞者)
キーパンソン養成講座修了式
講演「センター15年とこれからの人的資本経営について」
(上林 憲雄氏(神戸大学大学院経営学研究科教授))

※ひょうご仕事と生活バランス表彰企業：

認定企業のうち先進的・模範的取組で顕著な成果を上げた企業・団体15社を
選定

(株)アシダコーポレーション (丹波市)	上林建設(株) (宍粟市)
(株)籠谷 (高砂市)	金井重要工業(株) (伊丹市)
グリコマニュファクチャリングジャパン(株) 神戸工場・兵庫工場 (神戸市、三木市)	ケンプリア(株) (伊丹市)
神鋼鋼線工業(株) (尼崎市)	(有)地域サービスイモネ (姫路市)
(株)T V E (尼崎市)	(株)ティエルブイ (加古川市)
(株)東光バネ工業社 (尼崎市)	(株)ピーエムシー (淡路市)
(株)ミユキット (神戸市)	(株)m e r c h u (西宮市)
モリ・プランズ(株) (豊岡市)	(50音順)

② W L B 推進キャンペーンの実施

県民からWLBキャッチフレーズを募集(応募作品2,011作品(一般の部490作品、
学生の部1,521作品))し、入賞作品をカレンダーや情報誌へ掲載等を行った。

県雇用対策三者会議賞 (グランプリ)	(一般の部)ひとつじゃない あなたの役割 あなたの生き方
	(学生の部)自分らしい生き方の中に、自分らしい働き方を
兵庫労働局長賞・働き方改 革賞 (準グランプリ)	(一般の部)楽しもう！暮らしと仕事 どちらもあなたの宝物
	(学生の部)大切に 考え直す この休み
ひょうご仕事と生活センター長賞 (佳作)	(一般の部)退勤後 ふっと見上げた 空の青
	(学生の部)多様性 認めて広がる 経験値



年 度	R2	R3	R4	R5	R6	備 考
企業向け情報誌	50,500	40,000	40,000	40,000	40,000	発行部数(年4回、R2まで年5回発行)
学生向け事例集	20,500	21,000	20,000	20,000	3,000	発行部数(年1回発行) その他、チラシ15,000部作成
WLB フェスタ	194	205	137	143	175	参加者数 (R2,3はオンライン数含む)
ポータルサイト運営	78,347	82,308	58,141	63,091	72,119	アクセス数

(3) 相談・実践支援

企業等の組織内でWLBを効果的に推進するための相談を受け付け、課題に応じた適切な専門家を派遣するとともに、実践支援や研修情報の提供等を行った。

① ワンストップ相談

来所者等への面接、電話、電子メール等による相談に随時対応した。

② コーディネーター・コンサルタント・外部専門家の派遣

企業等にセンターのコーディネーター、コンサルタントを派遣し、WLBの実現に向けて最適な取組方法等を提案した。

企業ニーズに応じて、センター登録の外部専門家(社会保険労務士、中小企業診断士、キャリアカウンセラー等)を企業に派遣し、経営陣や担当者に対して具体的な助言を行った。

③ テレワークサポートセンターの設置

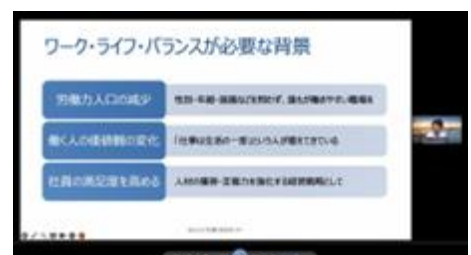
テレワークシステムの構築・運用に関する相談に応じるICTアドバイザーを配置し、相談から導入までの支援を行った。

併せて、中小企業への在宅勤務システム導入などを助成対象としている「テレワーク導入支援助成金」の活用を促進した。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	備 考
ワンストップ 相談	4,553	4,614	3,816	2,766	1,616	件数(ICT含む)
コーディネーター等派遣	1,996	2,103	1,961	2,235	2,145	R6目標件数2,000

(4) 研修企画・実施

各企業の課題に沿った研修のほか、組織内で中核的役割を担う人材を対象とした講座、WLBの取組が進んだ企業を対象とした勉強会、神戸・尼崎・姫路での地域セミナーなど、多様な研修を企画・実施した。また、



WLB推進企業を集めた就職説明会を開催した。

① 企業等の課題に沿った研修の企画・実施

「明るい職場づくりのためのコミュニケーション」「WLB実現に向けたハラスメント防止」「タイムマネジメントによるWLBの確保と生産性の向上」等をテーマに、小規模企業等を対象とした集合型の合同研修や個別企業等を訪問して行う出前型の研修を実施した。

② キーパーソン養成講座

WLBを効率的に進めるためのアクションプランの作成など、企業や団体自らが主体となってWLBの実現推進活動を実行するため、その中核的役割を担うキーパーソン養成を目的とした4回の連続講座を開催した。また、取組みを継続する意欲を高めるため、参加者同士の交流の場としてOB・OGの会を開催した。



③ 認定・表彰企業向け勉強会

認定・表彰を受けた企業・団体を対象に、WLB実現に向けた具体的な課題を解決するための考え方を学び、改善策を立案するための勉強会を年2回開催するとともに、相互の学びの場や交流会などを通じてネットワークづくりを進めるなど、企業の自主的な取組への支援を行った。



④ WLB地域セミナーの開催

神戸、阪神、中播磨の各県民局・県民センターや経営者団体・労働組合等と共催で、それぞれの地域課題に対応したテーマを取上げてセミナーを開催した。

【WLB地域セミナー】

地 域	開催日／会場	内 容	参加者数
神 戸	10月28日 兵庫県私学会館	講演「心理的安全性が高く生産的な職場づくり」 (株)ZENTech 代表取締役 石井 遼介氏	155
阪 神	11月11日 尼崎商工会議所	講演「採用の視点から考える中小企業の働き方」 武庫川女子大学准教授 山下 紗矢佳 氏 トークセッション：進行 国本 豊泰氏	118
中播磨	10月21日 姫路商工会議所	講演「地方の中小企業の採用成功法則」 人事の扉㈱ 代表取締役 桜井 透氏	会場58 WEB 65

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	備 考
従業員向け研修	115	197	216	229	245	R6目標件数200
キーパーン養成講座	14	18	21	17	16	修了者数
認定・表彰企業勉強会	46	49	33	62	53	参加者数

⑤ WLB表彰企業を集めた企業研究フェアの開催

WLBの取組を進めている表彰企業を集めた企業研究フェアを全学年の学生を対象に2月20日にオンラインで開催した。

・参加企業数：47社 ・参加学生数：128人

(5) 中小企業への助成

育児・介護による休業制度及び短時間勤務制度の利用促進や女性や高齢者が働きやすい職場環境の整備促進、テレワーク導入支援のため、3種類の助成金の活用により中小企業の多様な働き方の推進に取り組んだ。

① 育児・介護代替要員確保支援助成金

中小企業等の従業員の育児や介護休業の取得を促進し、休業者が職場復帰しやすい職場環境を整備するとともに、育児・介護による短時間勤務の利用促進を図るため、休業者・短時間勤務者の代替要員にかかる賃金の一部を助成した。

- ・休業型：代替要員の賃金の1/2（月額上限10万円・総額上限100万円）
- ・短時間勤務型：短時間勤務の代替要員の賃金の1/2

（育児の場合、月額2.5万円、小学3年生まで（総額上限なし））

（介護の場合、月額上限10万円、総額上限100万円）

② 環境整備支援助成金

女性専用トイレ・更衣室、事業所内託児スペース、休憩室の整備、高齢者用安全補助設備の整備など、様々な人材の就労を支援するために職場環境の整備を行った中小企業等に対し助成金(対象経費の1/2以内、上限200万円)を支給した。

③ テレワーク導入支援助成金

育児・介護等と仕事の両立や多様で柔軟な働き方を推進するため、テレワーク環境の整備を行った中小企業等に対し助成金(対象経費の1/2以内、上限200万円)を支給した。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	備 考
育児・介護代替要員確保支援	83	84	100	106	100	R6目標件数100
休業コース	75	94	75	99	97	
短時間勤務コース	9	6	9	7	3	
環境整備支援	42	52	31	38	33	R6目標件数50
テレワーク導入支援	106	126	100	88	0	

(6) 調査・研究

大学と共同して、WLBに関する調査・研究を進めたほか、働きやすい職場環境を目指す企業の従業員意識調査を実施した。

① 兵庫県立大学との共同研究

企業訪問による経営者層へのヒアリング調査や従業員へのアンケート調査等を行い、新たな視点での課題の洗い出しを検討するため、宣言・認定企業3社を対象にWLBに関する調査研究を兵庫県立大学国際商経学部と共同で実施した。



② 従業員意識調査の実施

従業員に対する意識調査アンケートを実施することにより、従業員の満足度を定量的に捉え、WLB実現の促進要因や阻害要因を分析し、調査対象企業が今後取り組むべき課題や改善策等の提案に活かした。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	備 考
県立大共同研究報告会	3	3	5	5	5	研修会含む回数
従業員意識調査	41	67	57	71	73	実施企業数

3 勤労者等の文化・スポーツ・レクリエーション活動の推進

(1) 兵庫県中央労働センターの管理運営

勤労者等の会議室利用や産業労働関係団体の事務所利用等を通じて、勤労者の福利厚生や教養文化を高めるとともに、煉瓦ギャラリー等を活用した展示などにより、入居団体、利用団体、近隣団体等との交流拠点として運営した。

兵庫県と神戸市との協定(令和元年9月)に基づき、大規模災害時に発生する帰宅困難者の一時滞在施設に位置づけられたことから、備蓄品の整備等を行い、神戸市都心部の防災拠点として運営した。

<施設概要>

- ・延床面積 7,260 m²
- ・施設内容 大ホール(320人)、小ホール(150人)、視聴覚室(50人)、会議室7、駐車場 等
貸事務所使用分：18団体(1,263 m²)



<重点業務取組>

- ① 関係団体等への積極的な働きかけによる利用率・利用料金収入の向上
- ② 関係団体・地域団体との関係構築を通じた社会貢献活動の推進
- ③ 安全・安心な利用のための4Sの徹底と設備管理の推進
- ④ ウェブサイト等を活用した手続きのデジタル化と積極的な情報発信
- ⑤ 会議室の多目的活用促進のためのネットワーク環境や新たな備品の整備

<施設利用実績>

利用件数・人数・率ともに前年度を上回っている。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
利用件数 (前年度比：%)	3,690 (74.4)	3,957 (107.2)	4,887 (123.5)	5,337 (109.2)	5,509 (103.2)	5,400
利用人数 (前年度比：%)	248,270 (72.7)	257,470 (103.7)	325,760 (126.5)	346,280 (106.2)	365,200 (105.4)	370,000
利用率(%)	35.9	38.6	46.9	51.1	52.9	52.0

<主な利用促進事業の実績>

① 煉瓦ギャラリー等を活用した展示

館内1階ロビーから2階へ続く煉瓦色の壁面を県民の幅広い層の活動成果を展示する場として提供し、来館者に披露した。(R6年度12回計画、12回実施)



主な展示	内 容	来場者数
十人の仲間達展	KCC 三沢かずこ自由画教室有志による絵画展	9,031
くんじろう展と絵手紙教室展	くんじろうさんの作品と生徒さんの作品を展示	3,654
52 からの PAINTER～emiya～	描き始めたところからの進化を展示	4,800

② 自習室開放

夜間の時間帯において予約のない会議室 1 室を自習室として開放し、地域に貢献するとともに利用率向上につなげている。(R6 年度 11 回開放)

③ 勤労者のためのワンコインカレッジの開催【新】

勤労者の関心が高いテーマについて、仕事帰り等に気軽に参加できる講座を開催した。(参加料：各回 500 円)

日 程	11 月 19 日	11 月 26 日	12 月 3 日・4 日
内 容	女性のためのヘルスリテラシー基礎講座①	女性のためのヘルスリテラシー基礎講座②	ノルディックウォーキング入門講座
参加人数	24 人	30 人	18 人

④ テレワーク勤労者支援事業【新】

中央労働センター 1 階にコワーキングスペース（3 ブース）を設置し、テレワーク勤労者に落ち着いて就業できる場を提供した。(R6 年度 22 人 延べ 66 回利用)



(2) 姫路労働会館の管理運営

播磨地域を中心とした勤労者や労使関係団体等の会合、研修、文化活動などのために会議室を提供し、勤労者等の福祉向上に資する活動を支援するとともに、お仕事川柳コンクールの実施、ギャラリー展の開催などにより、交流拠点として運営した。

<施設概要>

- ・延床面積 2,416㎡
- ・施設内容 多目的ホール(270人)、会議室 5、サークル室 2、視聴覚室、和室、トレーニング室、駐車場 等



<重点業務取組>

- ① 労使団体への働きかけ強化、新規利用先の発掘・誘致による利用率向上
- ② 施設の特徴を生かした新たな会館主催事業の企画充実による利用の促進
- ③ ニーズを踏まえた備品整備によるサービスの向上及び多様な利用形態への対応
- ④ 施設設備の日常点検と老朽化への計画的な対応(予防保全)による安全安心の確保
- ⑤ SNS の活用など新たな情報発信による施設認知度の向上

<施設利用実績>

利用件数・人数・率ともに前年度を下回った。個人、サークル活動での利用は順調に増えたが、主に講習会やイベントによるホール利用の減少が続いた。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R7 目標
利用件数 (前年度比：%)	4,594 (75.7)	5,058 (110.1)	5,655 (111.8)	5,617 (99.3)	5,470 (97.4)	6,200
利用人数 (前年度比：%)	225,272 (77.8)	253,953 (112.7)	281,266 (110.8)	269,062 (95.7)	259,211 (96.3)	289,000
利用率(%)	40.0	46.3	49.4	48.8	47.8	54.0

<主な利用促進事業の実績>

① 第20回お仕事川柳コンクールの実施

県、労使団体等との共催で、勤労者をはじめとする県民から「仕事」「ワークライフバランス」を題材とした川柳を募り、応募作品を館内に展示するとともに、優れた作品を表彰した。(応募者数186人、応募句数732句)

[主な受賞作品]

兵庫県知事賞	作業着の汚れを誇りとも思う
姫路市長賞	再雇用叶って夢が一つ増え
兵庫県勤労福祉協会理事長賞	新しいスーツの匂い家を出る
兵庫県中播磨県民センター長賞	毎日のつかれをいやす子の笑顔
連合兵庫西部地域協議会議長賞	A I を使いこなすが愛はなし
姫路経営者協会会長賞	家事育児手分けをしようすこしでも

② ギャラリー展の開催

広く県民から趣味等の作品を募集して、館内1階ロビースペースで展示し、来館者に憩いの空間を提供した。(6年度5団体)



主な展示	内 容	来場者数
西明石天文同好会 天体写真展	肉眼では見られない夜空の拡大写真や、風景と星のコラボレーション写真など会員の皆さんが撮影した天体写真を展示	11,800
筆ペン同好会作品展	毎月練習されているペン習字同好会の皆さんの作品を展示	14,800
笑顔文字ひめじ教室 作品展	毎月開催されている笑顔文字教室の参加者が作成した文字と笑顔のコラボ作品を展示	16,200

③ 勤労者のためのワンコインカレッジの開催【新】

勤労者の関心が高いテーマについて、仕事帰り等に気軽に参加できる講座を開催した。(令和7年3月28日実施、参加人数：14人、参加費500円)

(3) 但馬ドームの管理運営

第5期指定管理（令和5～9年度）の2年目として、全但バス等共同事業体が一丸となって但馬ドームの管理運営に取り組んだ。

その結果、利用促進イベント等の事業は台風の影響もあり中止した事業もあるが、その他は計画どおり実施でき、施設全体の利用者満足度は93%と高い評価を得ている。

新たなイベントとして開催した“但馬ドームオータムフェスタ&ロハスパーク豊岡”では、地元企業やロハスパークの出店により地域間交流を推進、全但バス(株)による自然体験型婚活イベントでは地域の活性化に寄与することができた。

また、グラウンド・ゴルフ、障害者野球、ソフトボールなどのスポーツイベントを計画的に開催するとともに、ドームに隣接する森林を整備し活用する取組を拡大実施するなど、但馬ドームの魅力増進にチャレンジした。

<施設概要>

① ドーム棟（県からの受託施設、延床面積:21,813㎡）

- ・多目的グラウンド(14,000㎡)、開閉式屋根、観客席(1,196席)、トレーニング室、選手控室、多目的室 等

② 神鍋野外スポーツ公園（豊岡市からの受託施設）

- ・センター棟(延床面積:1,140㎡)：
事務室、休憩室、会議室、ロッカー室 等
- ・野外施設：
芝生グラウンド(14,130㎡)、環境発見遊具、芝生広場、駐車場 等



<重点業務取組>

- ① 地域との連携強化や民間活力を活かした地域間交流の促進による集客の拡大
- ② 森林やジオパークを活用したアクティビティ及び分散型・体験型のツーリズム等、ウィズコロナ時代に対応する新たな魅力の創出
- ③ スポーツ・レクリエーションの裾野の拡大
- ④ SNS等を活用した効果的な情報提供、広報・PR活動の強化
- ⑤ 安全・安心で快適な施設の提供とSDGsへの貢献

<施設利用状況>

新たなイベントやスポーツ大会の開催等により利用件数・人数等は前年度を上回った。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
利用件数 (前年度比：%)	3,983 (70.0)	4,185 (105.1)	1,933 (46.2)	5,110 (264.4)	5,589 (109.4)	5,400
利用人数 (前年度比：%)	77,073 (21.7)	91,667 (118.9)	63,096 (68.8)	160,780 (254.8)	218,058 (135.6)	240,000
利用率 (%)	74.5	74.4	—	78.3	84.8	86.0

※R4年度、ドーム棟グラウンドは大規模修繕工事により5～6月を除き利用休止

＜主な利用促進事業の実績＞

① レッツチャレンジ！ニュースポーツ（5/26）【新】

初心者、ファミリーを対象に、モルック、ペタンク、グラウンド・ゴルフなどニュースポーツに親しんでもらう機会を提供した。（来場者 62人）

② サマーミュージアム「但馬の星空 大宇宙展」(8/1～31)

但馬地域で天体観測を行っている個人・団体と連携して、但馬の夜空の魅力を写真やパネル、機材を展示して来館者に紹介した。（来場者 11,336人）



③ ドームdeアウトドアアクティビティ（8/31～9/1）

“但馬ドームに泊まろう!!”と銘打った1泊2日のキャンプ体験、芝生グラウンドを利用した多彩なアウトドアイベントを計画したが、台風10号の接近により中止した。

④ 森林活用イベント“森のこみちで恋物語”（10/12）【新】

整備を進めている森林や散策道を活用した、自然体験型婚活イベント“森のこみちで恋物語”を開催した。（参加者 22人）

※全但バスとの連携事業



⑤ 第26回全日本身体障害者野球選手権大会（11/2～3）

身体障害者野球の頂点を目指し、全国7ブロック代表7チームによる全国大会を開催した。（参加者・来場者 2,000人）

《共催：NPO日本身体障害者野球連盟》



⑥ 但馬ドームオータムファスタ&ロハスパーク豊岡(11/9～10) 【新】

環境への取り組みを推進する地元企業とロハスパークの出店などにより地域間交流を推進した。（来場者 25,000人）



⑦ スポーツクリニック

(ア) ソフトテニスクリニック～YONEXと部活動～ (1/18～19)
ヨネックス所属プレーヤーを講師として、中・高生を対象としたソフトテニスクリニックを開催した。(参加者 219人)



(イ) ソフトボールクリニック (2/1～2)

園田学園女子大学のソフトボール部の監督・部員を講師として、幼児～小学生低学年の「ボールあそび教室」と中・高生を対象に「走・攻・守 徹底解剖」としてソフトボールの基本を学ぶ講座を開催した。(参加者 119人)

⑧ グラウンド・ゴルフ推進事業

(ア) 但馬ドームグラウンド・ゴルフクラブ

愛好家をはじめ、誰もが気軽に参加可能な但馬ドームオリジナルのグラウンド・ゴルフ大会を開催した。

- ・練習会 (通年/24回 3,232人 (3月末))
- ・第34回交流大会 〈予選〉443人 〈決勝〉283人
- ・第35回交流大会 〈予選〉457人 〈決勝〉283人



(イ) 第15回但馬ドームCUPグラウンド・ゴルフ大会 (3/8)

日本グラウンド・ゴルフ協会公認大会として、県内外からグラウンド・ゴルフ愛好家が集結する但馬を代表する大会を開催した。(参加者 353人)

⑨ 森林等の自然の活用

(ア) ドームの森をつくろう！

～森林整備体験と森林の活用を推進～ (通年：5回)

ボランティアの協力を得て、危険木や蔓の伐採、下草刈り、散策道を整備し、“但馬ドーム&タダックの森”と命名して、ウォーキングMAPを作成。また、地元小学生の体験学習等を実施するなど、森林等の活用を推進した。(参加者 80人)



(イ) ドームに山野草園をつくろう！

～貴重な神鍋の野草を学んで守る～ (通年：5回)

「神鍋山野草を愛でる会」と連携し、神鍋に自生する山野草の保存園の整備や野生ラン等の保護活動を実施した。(参加者 70人)



(4) 憩の宿戦略的パートナーシップ事業の推進【新】

憩の宿との戦略的パートナーシップに基づき、勤労者福祉施設戦略支援室において、憩の宿におけるブランディング、マーケティング、マネジメント等を公益的観点から見直し、その成果を踏まえて「憩の宿中期経営計画」を策定した。

4 勤労者の福利厚生の充実

(1) 兵庫県中小企業従業員共済事業（愛称：ひょうごファミリーパック）

中小企業従業員の福祉向上と企業の安定した労働力の確保・定着を図るため、県内中小企業に勤務する従業員に対し、企業単独では実施困難な共済事業を展開した。

全体の加入事業所数、被共済者(会員)数については、令和4年度末に共済制度を廃止した西宮市・川西市からの移行加入の促進に努めたこともあり着実に増加したものの、目標数には達していない。福利厚生提携店数は、近年減少傾向にある。一方、福利厚生件数は、余暇活動の再開で回復しコロナ禍前の水準を超えている。また、給付件数も被共済者数の増加に比例して増加している。

<重点業務取組>

- ① 新規会員獲得に向けた加入促進嘱託員による重点加入推進活動の展開
- ② 増加する会員ニーズに応じた福利厚生・給付等サービスの充実
- ③ 非正規従業員の加入促進と従業員の健康増進
- ④ 新共済管理システム開発等デジタル化の推進

<制度加入実績（各年度末時点）>

4年度末制度廃止の西宮市からの移行加入を順次進め、加入事業所数、被共済者数ともに前年度を上回り着実に増加している。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
加入事業所数 (前年度比:%)	2,346 (104.1)	2,577 (109.8)	2,807 (108.9)	2,882 (102.7)	2,962 (102.8)	3,100
被共済者(会員)数 (前年度比:%)	31,721 (109.3)	34,257 (108.0)	38,135 (111.3)	42,497 (111.4)	43,773 (103.0)	51,000

<主な事業の実績>

① 新規会員獲得に向けた加入推進活動の展開

新規会員獲得に向けて、ホームページ等でPRするとともに、加入促進嘱託員2名を中心に、新規加入企業の掘り起こし、商工会議所・商工会等経済団体や金融機関、西宮市・川西市等関係機関と連携した加入推進活動を展開した。

② 非正規雇用労働者の処遇改善と加入促進

非正規従業員に対し会費の半額を最長3年間助成する県補助事業のメリット等を広くPRし、加入事業所のパート従業員など非正規雇用労働者の加入促進を図った。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
非正規新規加入者数 (前年度比:%)	1,179 (90.3)	1,062 (90.1)	1,532 (144.3)	1,705 (111.3)	1,115 (65.4)	1,900

③ 中小企業従業員健康増進支援事業（県補助事業）の活用による健康増進意欲の向上

人間ドック・脳ドック及びインフルエンザ予防接種に対する支援事業を積極的にPRし、会員の健康増進意欲を高めるとともに、新規及び追加会員の加入促進に努めた。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
人間ドック・脳ドック利用件数 (前年度比:%)	944 (219.5)	1,049 (111.1)	1,201 (114.5)	1,470 (122.4)	1,635 (117.8)	1,500
インフルエンザ予防接種利用件数 (前年度比:%)	11,565 (139.2)	8,350 (72.2)	13,539 (162.1)	13,044 (96.3)	13,572 (104.0)	15,000

④ 福利厚生事業

宿泊・レジャー施設や飲食店等の提携店を利用する際の会員割引や利用補助をはじめ、暮らしに役立つ多様なサービスを、会員ニーズを踏まえながら提供した。

会員が身近に且つ気軽に利用できる施設や店舗を全県的に確保するため、地域提携店等の開拓を図った。

ホームページやSNS、会報誌「ファミリーパックNEWS」（年4回発行）等を活用して、会員への積極的な情報提供に努めた。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
福利厚生利用件数 (前年度比:%)	64,687 (88.0)	64,959 (100.4)	84,117 (129.5)	99,398 (118.2)	107,114 (107.8)
内 訳	利用券(宿泊・飲食)	47,475	50,096	59,401	65,880
	チケット斡旋(映画等)	4,703	5,464	9,976	19,004
	健康増進補助(人間ドック等)	12,509	9,399	14,740	14,514

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
福利厚生提携店数 (前年度比:%)	2,738 (92.8)	2,372 (86.6)	2,282 (96.2)	2,264 (99.2)	2,171 (95.9)	2,400



⑤ 給付事業

結婚、入学等の祝金、見舞金・弔慰金、勤続報奨金、退職餞別金など、会員及びその家族のライフステージに応じた12種類の給付金を支給(1件あたり3,000～70,000円)した。

きめ細かなサービスとして、会員ごとの給付該当一覧表を年4回発行した。

年 度		R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
給付金支給件数 (前年度比:%)		9,040 (112.0)	10,243 (113.3)	10,893 (106.3)	11,923 (109.5)	12,480 (104.7)	13,000
内 訳	祝金(結婚、入学等)	3,081	3,148	3,419	3,606	3,633	
	見舞金・弔慰金	1,022	1,085	1,221	1,379	1,521	
	勤続報奨金	3,614	4,233	4,621	5,282	5,167	
	退職餞別金等	1,323	1,777	1,632	1,656	2,159	

⑥ 融資斡旋事業

県内に本支店を置く14の指定金融機関と連携し、日常の急な生活費や自動車購入費、住宅資金などに利用しやすい3種類の低利融資(いずれも年1.4%固定金利)の斡旋を行った。

年 度		R2	R3	R4	R5	R6
融資件数 (前年度比:%)		15 (150.0)	5 (33.3)	6 (120.0)	9 (150.0)	4 (44.4)
内 訳	生活資金(融資限度50万円)	4	1	1	5	2
	特別生活資金(融資限度200万円)	7	4	5	3	2
	住宅資金(融資限度400万円)	4	0	0	1	0

⑦ 離職者生活安定資金融資損失補償事業

中小企業勤労者の雇用の安定を図るため、兵庫県が近畿労働金庫と協調して実施する「離職者生活安定資金融資事業」の損失補償業務(保証機関の日本労働者信用基金協会に対し代位弁済額の5%を補償)を行った。

なお、申込の減少が著しいことから令和7年度から新規の受付を停止している。

(件数、〔 〕内:金額(千円))

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	累計(H21.2～)
保証預かり	2〔8〕	1〔5〕	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	120〔527〕
損失補償	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	1〔7〕	28〔444〕
回収金	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	0〔0〕	10〔117〕

⑧ 収入確保策の実施

長期的な収入の安定を図るため、利用券事務手数料など各種手数料や広告宣伝収入等により、収入確保を図った。

(単位：千円)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
事務手数料等収入額	6,003	4,861	5,337	5,999	6,332	6,000

⑨ 業務の簡素化を目指した新共済管理システム開発の実施

従前の共済管理システムの保守サポート終了と多様化・複雑化する会員サービスに対応しつつ事務処理の効率化を図るため、3年度から開発を進めてきた新共済管理システムについて、6年5月に運用を開始した。

(2) 勤労者福祉支援事業の推進

県内の勤労者及びその家族の豊かな生活の実現を図るため、勤労者福祉基金を運用して勤労者に対する融資を行ったほか、県域で勤労者への福祉活動を行う団体の活動に対して助成した。

<主な事業の実績>

① 勤労者教育支援資金融資事業（兵庫の学びと教育のローン）

勤労者の能力開発、その家族の教育に必要な資金について、近畿労働金庫と協調(預託額 55,821 千円)して、長期かつ低利(借入限度 200 万円以内、7 年以内返済。年率 1.2%固定金利)な条件で貸し付けた。

同事業の利用促進のために、別途必要となる保証料(年 0.7～1.2%)の 1/2 助成を実施した。



年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標
融資実行件数	20	25	25	19	17	40
勤労者スキルアップ支援資金	0	1	2	2	1	—
子弟教育支援資金	20	24	23	17	16	—
保証料助成件数	15	16	13	13	11	40

② 勤労者福祉活動支援事業

勤労者福祉基金の収益等を活用して、全県的に勤労者福祉活動を展開する団体の活動に対し助成した。

助成対象団体（対象事業）	助成金額
兵庫県労働者福祉協議会 〔同協議会が県内 12 地区で展開する文化・スポーツ事業、教育研修事業、交流事業 等〕	200 万円

5 労働・勤労者福祉の情報提供

(1) ひょうご労働図書館の運営

中央労働センターロビーを活用した経済・労働関係雑誌の閲覧コーナーの設置、情報誌「図書館にゅ〜す」の発行、SNSの活用などにより、開かれた図書館としての機能強化を図るとともに、利用者ニーズに合わせたサービス向上を進めた。また、勤労者の就業環境の変化やニーズを捉えた労働問題講演会を開催した。

<重点業務取組>

- ① 中央労働センターとの一体的運営による開かれた図書館としての機能強化
- ② 関係機関との連携による図書等の充実と利用者ニーズに合わせたサービス向上
- ③ 勤労者の就業環境の変化・ニーズを捉えた労働問題講演会の開催

<施設利用実績>

図書館利用者数、図書貸出人数、図書貸出冊数については、令和4年度以降コロナ禍前の水準まで回復基調であったが、リニューアルに伴う約2カ月の閉館が影響し、いずれも前年度を下回った。

年 度	R2	R3	R4	R5	R6	R6目標
図書館利用者数（人）	5,402	6,508	8,987	10,194	7,856	10,000
図書貸出人数（人）	1,708	2,069	2,624	2,863	2,321	2,800
図書貸出冊数（冊）	4,725	5,884	6,905	7,792	6,364	7,600

<主な事業の実績>

① 中央労働センターとの一体的運営による開かれた図書館としての機能強化

中央労働センターロビーを活用して、最新の経済・労働関係雑誌が閲覧できるコーナーを引き続き設置するとともに、小泉八雲に関する展示コーナーを図書館内と連携して運営したほか、中央労働センター運営委員会の意見や提言を踏まえて、図書館活動を展開した。



また、新着図書や蔵書の書評、その他図書館に関連する情報を掲載した情報誌「図書館にゅ〜す」を年2回発行し、関係機関や近隣地域に配布するほか、SNSも活用して図書館情報を積極的に発信した。

② 関係機関との連携による図書等の充実と利用者ニーズに合わせたサービス向上

関係機関の協力を得て労働専門図書等を一層充実するとともに、利用者のリクエストを踏まえて話題の図書等の購入・排架を進めた。

また、ワークライフ・バランス関連図書コーナーを充実するとともに、「アフター・コロナの働き方」や「脳と人工知能(AI)を知る！ 働く現場の【ノウ】知識など、利用者の関心の高いテーマによる特集コーナーを設置しているほか、除籍図書を利用者に無償譲渡する古本リサイクル・フェアを開催するなど、利用者ニーズに合わせたサービス向上を推進した。



③ 勤労者の就業環境の変化・ニーズを捉えた労働問題講演会の開催



就業環境の変化やニーズを捉え、勤労者をはじめ広く県民一般を対象として、雇用労働問題をテーマとした講演会や、勤労者・県民の自己啓発をテーマとした実務講演会を、オンラインも活用し2回開催した。

(参加者計 151 人)

区分	開催日／会場	テーマ / 講師	参加者
第1回	7月17日(水) (会場+オンライン)	「『年収の壁』問題を考える ～就労調整の実態から～」 東京大学社会科学研究所 教授 近藤 絢子 氏	78 人
第2回	3月3日(月) (会場+オンライン)	「カスタマーハラスメントへの実務対応」 関西大学社会学部社会学科 教授 池内 裕美 氏	73 人
計			151 人

6 その他収益事業の実施

(1) 駐車場の管理運営

兵庫県から土地を借り受け、地域の交通安全対策と県庁来訪者等の利便性確保のため、駐車場を設置し管理運営を行った。



<施設利用実績>

駐車場利用については、県庁南駐車場の敷地を県に返還する必要が生じたことから、令和6年6月末に同駐車場を閉鎖した。諏訪山駐車場は、年間を通じて全区画を月極契約した。

(延べ利用台数)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
県庁南駐車場(時間66台)	36, 897	38, 481	42, 573	40, 968	9, 420
諏訪山駐車場(月極18台)	212	215	209	212	216

(2) 自動販売機の設置

兵庫県から指定管理を受けている兵庫県中央労働センター、姫路労働会館及び但馬ドームにおいて、施設利用者の利便性確保のため、施設内・屋外に自動販売機を 16 台設置し、管理を行った。